



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 名

上場会社名 竹田印刷株式会社

コード番号 7875 URL <http://www.takeda-prn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 眞一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営統括本部長

(氏名) 井川 誠

TEL 052-871-6351

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 16,744 | 5.7 | 302 | 152.5 | 322 | 223.1 | 148 | — |
| 25年3月期第2四半期 | 15,837 | 1.8 | 119 | 50.0 | 99 | △2.8 | △39 | — |

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 271百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △95百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 18.24 | — |
| 25年3月期第2四半期 | △4.90 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 28,989 | 14,215 | 48.7 |
| 25年3月期 | 29,726 | 14,046 | 46.8 |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 14,110百万円 25年3月期 13,899百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 26年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 35,500 | 5.6 | 650 | 26.0 | 680 | 23.1 | 280 | 79.7 | 34.50 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期2Q | 8,781,000 株 | 25年3月期 | 8,781,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 672,752 株 | 25年3月期 | 645,452 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期2Q | 8,121,823 株 | 25年3月期2Q | 8,135,548 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (その他の注記事項) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景とした需要拡大や円安傾向のほか、住宅等では消費増税の駆け込み需要が見られたため、概ね回復基調で推移いたしました。個人消費では、株高や雇用環境の持ち直しが見られたことから消費マインドに改善が見られました。しかしながら労働所得が本格回復に至っていないこと、世界経済に下振れ懸念、来春の消費増税を睨んだ業績懸念などから、未だ先行きの不透明な状況が続いております。印刷業界におきましては、企業の広告宣伝需要は戻りつつあるものの、デジタル化の進展などによる印刷物の減少や、受注競争の激化による単価の低迷が続くほか、用紙価格の上昇による採算性の悪化などの影響を受け、低調に推移しております。

このような状況のなか、当社グループは顧客価値の創造を目指し、お客様の潜在的な課題やニーズを発見し、その課題の解決策をご提案する「創注活動」に取り組んでまいりました。また新規開拓と市場深耕に向けて、物流機能を組み合わせたソリューション提案、新しい媒体やITを活用した提案など、多様な付加価値提案を展開するとともに、営業情報を活用した多面的な戦術展開を進めてまいりました。併せて、予算管理の強化などによる固定費の削減、内製化促進などによる外注費の削減に取り組むなどコスト管理の強化を図って収益力向上に努めてまいりました。

こうした取り組みの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は167億44百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。利益面では、営業利益3億2百万円（前年同四半期比152.5%増）、経常利益3億22百万円（前年同四半期比223.1%増）、四半期純利益1億48百万円（前年同四半期は39百万円の四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(印刷)

印刷事業では、広告物・販促物の制作に通販事業で培ったロジスティクス機能を組み合わせた物流ソリューションの提案や、「コンパクトガイド」など新しい媒体を使った用途提案など、多様な付加価値提案を展開いたしました。また、システム提案やデジタルデバイスのコンテンツ提案などお客様のデジタル化ニーズにお応えするほか、イベント企画・運営の受託などの販促支援サービスを推進して、お客様の課題解決を通じたお客様満足度の向上に注力いたしました。

このような取り組みのほか、当第2四半期連結会計期間より連結子会社が1社増加したことによる増分があり、印刷事業の売上高は107億55百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。用紙、インクの値上がり傾向がある中、ミスの削減や材料ロスの低減による歩留向上を図るとともに代替品の検討など変動費の抑制に努めたほか、予算管理の強化などによる固定費の削減、内製化促進による外注費の削減などに取り組んだ結果、営業利益は1億56百万円（前年同四半期は36百万円の営業損失）となりました。

(物販)

物販事業では、主要販売先である印刷業界向けにARツールなど印刷の高付加価値化と市場創造につながる商品提案を行うとともに、品質向上・環境性能向上など差別化と競争力強化に向けた商品提案を進めるほか、印刷業種以外への拡販を展開いたしました。

こうした取り組みを図ったものの機械の販売が昨年を下回ったことにより、物販事業の売上高は63億97百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。販管費の圧縮に努めるなどしましたが売上減少分をカバーしきれず、営業利益は1億32百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ7億36百万円減少し、289億89百万円となりました。

負債の部は、短期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ9億6百万円減少し、147億73百万円となりました。

純資産の部は、有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1億69百万円増加し、142億15百万円となり、自己資本比率は48.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億82百万円減少し、34億72百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少7億61百万円に対し、売上債権の減少6億33百万円や減価償却費4億32百万円などがあったため5億43百万円の収入(前年同四半期は15億2百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出1億84百万円などに対し、固定資産の売却による収入3億32百万円や連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による収入1億72百万円などがあったため4億94百万円の収入(前年同四半期は2億58百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出3億94百万円や短期借入金の減少(純減額)3億10百万円のほか、プロセス・ラボ・ミクロンにおける民事再生計画に基づく一般債権ならびに別除権債権の弁済7億98百万円があったため、15億19百万円の支出(前年同四半期は8億80百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での平成26年3月期に業績予想は、平成25年11月7日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値のから変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,337,807 | 3,860,006 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,898,141 | 8,558,500 |
| 有価証券 | 99,946 | — |
| 商品及び製品 | 601,200 | 606,171 |
| 仕掛品 | 241,518 | 447,675 |
| 原材料及び貯蔵品 | 108,255 | 143,857 |
| 繰延税金資産 | 292,868 | 292,868 |
| その他 | 704,526 | 417,986 |
| 貸倒引当金 | △124,570 | △128,261 |
| 流動資産合計 | 15,159,693 | 14,198,804 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,020,167 | 3,972,866 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 748,696 | 685,976 |
| 土地 | 5,486,202 | 5,689,002 |
| リース資産(純額) | 850,670 | 823,883 |
| 建設仮勘定 | — | 10,258 |
| その他(純額) | 145,977 | 151,465 |
| 有形固定資産合計 | 11,251,714 | 11,333,453 |
| 無形固定資産 | 330,953 | 290,934 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,544,236 | 1,783,113 |
| 繰延税金資産 | 383,015 | 324,424 |
| その他 | 1,330,205 | 1,302,073 |
| 貸倒引当金 | △326,089 | △289,438 |
| 投資その他の資産合計 | 2,931,369 | 3,120,174 |
| 固定資産合計 | 14,514,036 | 14,744,561 |
| 繰延資産 | 52,481 | 45,921 |
| 資産合計 | 29,726,212 | 28,989,287 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,955,498 | 6,211,812 |
| 短期借入金 | 1,200,000 | 890,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 533,648 | 1,598,973 |
| リース債務 | 220,539 | 233,805 |
| 未払法人税等 | 55,887 | 147,124 |
| 賞与引当金 | 413,226 | 385,409 |
| その他の引当金 | 32,700 | 16,481 |
| その他 | 962,917 | 973,966 |
| 流動負債合計 | 10,374,416 | 10,457,571 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,475,483 | 1,165,944 |
| リース債務 | 693,349 | 645,006 |
| 長期未払金 | 83,560 | 84,340 |
| 退職給付引当金 | 1,823,674 | 2,149,484 |
| 資産除去債務 | 176,233 | 178,231 |
| その他 | 53,113 | 92,943 |
| 固定負債合計 | 5,305,413 | 4,315,950 |
| 負債合計 | 15,679,830 | 14,773,521 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,937,920 | 1,937,920 |
| 資本剰余金 | 1,793,446 | 1,793,446 |
| 利益剰余金 | 10,332,153 | 10,439,831 |
| 自己株式 | △497,124 | △510,310 |
| 株主資本合計 | 13,566,395 | 13,660,888 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 333,038 | 449,325 |
| その他の包括利益累計額合計 | 333,038 | 449,325 |
| 少数株主持分 | 146,947 | 105,552 |
| 純資産合計 | 14,046,381 | 14,215,766 |
| 負債純資産合計 | 29,726,212 | 28,989,287 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 15,837,410 | 16,744,892 |
| 売上原価 | 12,968,232 | 13,735,383 |
| 売上総利益 | 2,869,177 | 3,009,508 |
| 割賦販売未実現利益戻入額 | 653 | 653 |
| 差引売上総利益 | 2,869,830 | 3,010,161 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,750,122 | 2,707,957 |
| 営業利益 | 119,707 | 302,203 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 13,669 | 14,508 |
| 受取賃貸料 | 8,872 | 9,683 |
| 受取保険金 | 770 | 830 |
| 貸倒引当金戻入額 | 20,359 | 18,800 |
| その他 | 23,814 | 18,174 |
| 営業外収益合計 | 67,486 | 61,997 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34,525 | 32,771 |
| 持分法による投資損失 | 49,011 | — |
| その他 | 3,815 | 8,806 |
| 営業外費用合計 | 87,352 | 41,578 |
| 経常利益 | 99,842 | 322,623 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 18,008 | 1,786 |
| 投資有価証券売却益 | — | 599 |
| 負ののれん発生益 | — | 4,850 |
| その他 | 227 | — |
| 特別利益合計 | 18,235 | 7,236 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 13,444 | 9,135 |
| 投資有価証券評価損 | 30,574 | — |
| 会員権評価損 | 14,050 | 5,749 |
| 設備移設費用 | 11,738 | 4,807 |
| その他 | 12,458 | 540 |
| 特別損失合計 | 82,265 | 20,232 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 35,812 | 309,627 |
| 法人税等 | 71,269 | 154,698 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △35,457 | 154,929 |
| 少数株主利益 | 4,462 | 6,709 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △39,919 | 148,219 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △35,457 | 154,929 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △60,007 | 116,286 |
| その他の包括利益合計 | △60,007 | 116,286 |
| 四半期包括利益 | △95,464 | 271,216 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △99,926 | 264,506 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 4,462 | 6,709 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 35,812 | 309,627 |
| 減価償却費 | 386,258 | 432,652 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △7,175 | △3,425 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △62,964 | △44,152 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 20,958 | 50,453 |
| 受取利息及び受取配当金 | △16,718 | △16,446 |
| 支払利息 | 34,525 | 32,771 |
| 為替差損益 (△は益) | 1,487 | △57 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 30,574 | — |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | △4,563 | 7,348 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,417,642 | 633,043 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △68,261 | △205,133 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △252,082 | △761,689 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △5,098 | 23,835 |
| その他 | 73,714 | 155,809 |
| 小計 | 1,584,110 | 614,637 |
| 利息及び配当金の受取額 | 16,604 | 16,392 |
| 利息の支払額 | △33,754 | △32,921 |
| 法人税等の支払額 | △64,225 | △54,852 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,502,734 | 543,256 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △9,870 | △11,370 |
| 定期預金の払戻による収入 | 30,059 | — |
| 固定資産の取得による支出 | △343,003 | △184,068 |
| 固定資産の売却による収入 | 27,262 | 332,454 |
| 有価証券の償還による収入 | 50,000 | 100,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △5,134 | △5,348 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 10,726 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | — | 172,718 |
| 子会社株式の取得による支出 | △21,525 | △21,036 |
| 貸付けによる支出 | △6,800 | △8,190 |
| 貸付金の回収による収入 | 9,111 | 111,553 |
| その他 | 11,889 | △3,223 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △258,010 | 494,216 |

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △670,000 | △310,000 |
| リース債務の返済による支出 | △100,054 | △123,245 |
| 長期借入れによる収入 | 250,000 | 150,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △319,892 | △394,214 |
| 配当金の支払額 | △40,677 | △40,541 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △110 | △3,500 |
| 民事再生債務の返済による支出 | — | △798,201 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △880,734 | △1,519,702 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,487 | 57 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 362,503 | △482,172 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,229,557 | 3,954,480 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,592,060 | 3,472,308 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|-----------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 印刷 | 物販 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 9,937,052 | 5,900,357 | 15,837,410 | — | 15,837,410 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 2,218 | 885,254 | 887,472 | (887,472) | — |
| 計 | 9,939,270 | 6,785,612 | 16,724,882 | (887,472) | 15,837,410 |
| セグメント利益又は損失(△) | △36,963 | 156,399 | 119,435 | 272 | 119,707 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|------------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 印刷 | 物販 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 10,753,526 | 5,991,365 | 16,744,892 | — | 16,744,892 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 2,213 | 406,090 | 408,303 | (408,303) | — |
| 計 | 10,755,739 | 6,397,455 | 17,153,195 | (408,303) | 16,744,892 |
| セグメント利益 | 156,760 | 132,964 | 289,724 | 12,479 | 302,203 |

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(その他の注記事項)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社プロセス・ラボ・ミクロン

事業の内容 電子部品実装用各種マスクの製造およびこれに付随する業務

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社プロセス・ラボ・ミクロンの持つ高い技術力やブランド力を活かし、当社の半導体パッケージ用マスク事業との相乗効果を創出することにより、市場競争力を強化し事業拡大を図るため。

(3) 企業結合日

平成25年7月3日

(4) 企業結合の法的形式並びに結合後の企業の名称

企業結合の法的形式 現金を対価とする株式取得

結合後の企業の名称 変更はありません。

(5) 取得した議決権比率

100.0%

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とした株式取得により、被取得企業の議決権の100.0%を取得したためであります。

2. 連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年7月1日から平成25年9月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

| | |
|---------------------|-----------|
| 取得の対価 現金を対価とする株式の取得 | 300,000千円 |
| 取得原価 | 300,000千円 |

4. 発生した負ののれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生した負ののれん

1,349千円

(2) 発生原因

企業結合時の時価純資産の当社持分相当額が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれんとして認識しました。

(3) 償却の方法及び償却期間

全額を発生年度における収益としております。